

神戸公民館の老朽化について

(質問) 建設後46年が経過し老朽化が進み、町民にとって使い勝手の悪い建物となっている。老朽化対策を考える上で、公民館単体での検討ではなく、地域づくりの活動拠点も含めた施設となるよう、神戸地区の将来も見据えた計画を早急に進めてほしい。

(答弁) 神戸公民館は鉄筋コンクリート造のため、長寿命化による目標耐用年数を80年とし、基本的に地域づくりの活動拠点も考慮しつつ、大規模改修と長寿命化改修を実施し、長寿命化を進めることを考えている。

その他の質問 ○再犯防止の推進



労働者協同組合法について

(質問) 12月4日に国会を通過した、協同労働を行う組合設立を可能とする「労働者協同組合法」について、本市の見解と担当となる部局の考えはどうか。

(答弁) 労働者協同組合の設立により、課題を抱える関係団体が活動や就労をしやすくなり、地域の課題解決につながればと期待している。法で自治体の役割が明確になっていないため、現時点では担当部局がどこになるのかの判断は難しい。

その他の質問

○2019年度行政評価から文化財関係

○市西部地域の位置づけ



買い物弱者への行政支援について

(質問) 近年、食料品店の減少などに伴い、都市部においても、高齢者を中心に食料品の購入に困難を感じる消費者が増えている。本市でも、今後買い物弱者が増える将来を予測して、どのような対応策を考えているのか。

(答弁) 宅配サービスや移動販売事業は、民間事業者による取り組みが進んでいる。商業振興策としては、本市は、金融支援などで店または移動販売事業の創業への支援を継続していく。また、買い物という生活課題を支え合いの事業として取り組もうとする地域づくり協議会を、市としても支援していく。



改正農業委員会制度について

(質問) 平成28年に農業委員会制度が大きく改正されたが、新たに設置された「農地利用最適化推進委員」の選任方法に疑義がある。また、農業委員会における規程や要綱の不整合、規則の制定に至る不公正、不透明さは顕著であり、早急に見直し、改定・廃止が必要であると考えがどうか。

(答弁) 農地利用最適化推進委員の選任は、法律、市条例に基づいて実施している。また、規程・要綱などの運用について、農業委員会において今後適切に検討していく。

その他の質問 ○生活保護制度の方針・体制

○「ケアラー支援」体制の現状と今後



市民の安心安全の充実のために

(質問) 避難所での過密を防ぐなど、感染症対策を踏まえた場合の収容人数は。福祉避難所の拡充、緊急避難所の風水害時の避難区分の表示についての考えは。途切れのない福祉施策のための、誕生から終焉までの取り組みについての考えは。

(答弁) 南海トラフ地震発災時は避難所75カ所で約4万2,000人の対応が可能。感染症対策時の収容人数は約半分となるが、想定される避難者数1万2,000人に対しては充足している。福祉避難所は今後拡充に取り組む。誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らしていけるように地域共生社会の構築を目指す。



子育て支援について

(質問) 令和4年度に行われる合川保育所の長寿命化改修工事のスケジュールは。また、合川小学校の運動場に保育所の仮園舎を設置すると、園児の送迎と児童の登下校が重なる時間帯が生じるが、その際の安全確保策について問う。

(答弁) 合川保育所は、令和4年度初旬に仮園舎への引越し、保育所園舎の改修工事を行う。安全確保策については、特定の時間帯に安全管理・誘導を行う人員を配置するなど、児童の安全確保、交通事故防止のための措置を、小学校、保育所の関係者と共に検討していく。

その他の質問 ○交通安全対策

